



南十字星



2023年度 第1号

令和5年4月26日

クイーンズランド補習授業校

ゴールドコースト校

校長 直塚 裕典

E-mail: jschoolgc@jsgc.org.au

2023 (令和5) 年度がスタートしました!



新しい年度のスタートです。私達教員も子ども達も、新たな気持ちでスタートできる大切なスタートラインに立っています。日本では春(オーストラリアでは秋)、「やるぞ!」という勇気が凜々と湧き出る季節でもあります。心新たに夢を抱いて、新しい先生、新しい教室、新しい仲間、新しい教科書、いよいよ補習校が始まりました。

今年度の合言葉は『つなぐ』(手と手をつなぎ、心と心をつなぎ、みんなで助け合う、みんなの笑顔のために)です。何か問題が起きたときや新たなことに挑戦をするときにみんなで心をつないで考えを出し合い、助け合い、解決していきましょう。その時に一番大事なものは、「やさしさ」だと思います。

新しい学年になって、ほとんどの子ども達が「友達との出会い」をととても楽しみにしていました。友達を大切にすることは自分を大切にすることにつながると思います。また、社会に出て大切なのは「信用・信頼」、人との「出会い」だと思います。そして、自分も周りも幸せにできる人になってほしいと願っています。そのためには、「感謝」の思いを常にもつこと、「思いやり」の心で行動することが大切です。補習校生活の中で、「人の役に立つ喜び」を感じ取ってくれたらと思います。子ども達が元気で楽しく補習校での生活が送れるように努めてまいりますので、ご協力とご支援のほどよろしくお願い致します。

今年のテーマは、「心」をつなぐです!



今年のテーマは「心と心をつなぐ」です。「子ども達・先生方・保護者の皆様」が、あたたかくつながっていけば、必ず子ども達の未来につながっていくと思います。そこで、次の2つに重点を置きたいと考えています。
○「学習」は、先生や友達の話をよく聞き、自ら学びたいという意欲(こころ)につなぐことが大切です。
○「友達」は、相手の気持ち(こころ)を考えて行動すれば、心と心をつなぐことができます。

～児童生徒のみなさんには、次のことを実行してほしいと思います～

- ① 1時間の授業で「これは理解できた」と言えるようにしましょう。
- ② 友達を大切にするためには、「おもいやりのことば」をつかきましょう。



【心あたたまる入学式になりました!】

令和5年度の入学式を4月22日に実施しました。入学式では、子ども達の笑顔や少し緊張気味の表情を見ることができました。幼稚部23名、小学1年生34名、中学1年生14名を加えて総勢258名の大規模校となり、補習校生活に大きな期待をもって入学式に臨んでいたことだと思います。

式にはご来賓として、在ブリスベン日本国総領事館首席領事、増田智恵子様、ゴールドコースト日本商工会義所会頭、砂川盛作様、ゴールドコースト日本人会会長、安藤由香利様にご臨席いただき、さらに多数の保護者の皆様にもご参加していただき、静粛な中にも明るい雰囲気での式典となりました。今後とも保護者の皆様のご協力をお願い致します。





入学式「誓いの言葉」「歓迎の言葉」



【新入生代表 誓いの言葉】

《幼稚部・小学部 1 年生代表》

【ちかいのことば】

わたしたち、いちねんせいとようちぶは ほしゅうこうを とてもたのしみにしていました。

わたしは、かんじをがんばります。

ぼくは、テストで100てんがとれるようにがんばります。

4がつ22にち しょうがくぶいちねん さかもと じゅりあ、まえかわ かのあ



《中学部 1 年生代表》

夏の暑さも和らぎ、暖かな日差しとともに吹く風が心地よく、秋の気配を感じられる季節となりました。

この良き日に、私たち71名はクイーンズランド州補習授業校ゴールドコースト校に入学の時を迎える事が出来たことを、大変うれしく思います。

先生方、保護者の皆様方、本日はこのような素晴らしい入学式を執り行ってくださり、ありがとうございます。新入生一同、心よりお礼申し上げます。

幼稚部の皆さん、小学部の皆さん、ご入学おめでとうございます。

私はここから、緊張しつつも、皆さんの目がキラキラと輝いているのが見えます。

皆さんが補習校に入学する事をとても楽しみにしていたことでしょうか。補習校では、どんな事をするか知っていますか？幼稚部のみなさんは、先生やお友達といろいろな遊びをしたり、紙芝居を見たり歌を歌ったりしながら、日本語を使って楽しく過ごすことができますよ。

小学 1 年生のみなさんは、日本語を使って、日本にいる子供たちと同じように算数や国語を学びはじめます。補習校には、補習校祭りや学習発表会、運動会など日本の文化を学べる、楽しくワクワクした行事もたくさんありますよ。現地校とは違うお友達もたくさん出来ます。困ったことや、分からないことがあれば、優しい先生方やお兄さん、お姉さんにいつでも聞いてください。毎週土曜日に通う補習校で、たくさんの経験をし、楽しい思い出が出来ることを願っています。

私はいよいよ、中学部に入学します。

学習内容は、小学部とは大きく異なり、今まで以上に難しくなると思います。また、現地校の勉強との両立が大変になり、「あー、宿題が終わらなくて大変だー。」という気持ちにもなると思います。けれど、私が中学部に入学するのは、補習校に通うことが大好きだからです。クラスの皆や友達に会えることを考えると、頑張ろうと思えます。また、小学部で先生方から学んだ事などを思い出し、今週もまた新しい事を知り、学べるんだと思うと、やる気が出てきます。私は中学部では、算数をもっと頑張りたいと思います。

日本語で学ぶ算数は、文章に漢字もたくさんありますし、難しいです。けれど、日本の算数を学んでいると、現地校の算数が簡単に思えます。なので、もっと算数の勉強に力を入れて頑張りたいと思っています。

学年が上がるごとにやめてしまう友達もいますが、私は中学部 1 年生のみんなと中学部の三年間頑張っ、楽しく思いやりの心を大切にして支えあいながら、皆と一緒に卒業できたらいいなと思っています。

これからは、中学生という自覚と意識を持って、小学部の皆さんから頼りにしてもらえるよう行動したいと思います。



また、補習校に通わせてくれる、お母さんお父さんへの感謝の気持ちを忘れず、充実した素晴らしい三年間だったと思えるようになりたいです。

最後に、校長先生をはじめ、先生方、運営委員会の皆さま、そして保護者の皆さま、私たちがここオーストラリアで、素晴らしい日本の文化と教育を受ける事が出来る、このような環境を作り支えてくださりありがとうございます。色々な事に挑戦して、実り多き三年間にしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和五年四月二十二日

新入生代表 中学部一年 堀 莉愛

【在校生代表 歓迎のことば】

空が高く澄み渡り、秋晴れの爽やかな日が続くころとなりました。

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎申し上げます。こうして皆さんを補習校へお迎えできたこと、そして在学を代表して挨拶をさせていただくことを大変うれしく、光栄に思います。

幼稚部の皆さん、御入学おめでとうございます。新しい環境、新しいお友達、新しい先生。新しいことばかりでドキドキ緊張している子、はたまたワクワクしている子もいると思います。補習校では、日本語のお勉強だけでなく、運動会や補習校祭りなどの沢山の楽しい行事もあります。お友達や先生、ボランティアの方々と楽しく補習校での生活を過ごしてくださいね。

小学部一年生の皆さん、御入学おめでとうございます。今年からはお勉強が始まり、ひらがなの書き方や足し算の解き方など、沢山のことを学んでいきます。新しいことを覚えたり、今まで分からなかったことが分かるようになったりするのは、とても楽しいです。幼稚部さんのお手本となれるように、楽しく、時には真面目に、頑張ってくださいね。

中学部一年生の皆さん、御入学おめでとうございます。今年からは補習校の上級生として、時にはリーダーとして補習校を引っ張り、時には裏から補習校を盛り上げる立場となりました。現地校の勉強も難しくなるときに、補習校の勉強も難しくなってきます。人によってはスポーツや楽器をしている方もいることでしょう。これらを両立させることは簡単ではなく、ときには挫折して、補習校に来たくなくなることがあるかもしれません。そんな時は一旦立ち止まって、初心に戻ってみてください。補習校にいる仲間や先輩、先生やボランティア、保護者の方々はいつでもそばにいて、助けてくださいます。

最後になりますが、補習校は一週間に一度しかありません。この限られた時間を有意義に、楽しく過ごして欲しいと思います。そして、補習校での生活では様々なことを学びます。その中で、何事にも積極的に挑戦し、自分の可能性を広げ、共に成長していけるよう頑張ってください。

これからの補習校での生活が皆さんにとって素晴らしく、充実したものとなることを心より祈念いたしまして、歓迎の言葉とさせていただきます。

令和5年4月22日

在校生代表 中学部3年 ダイヤー萩瑠



<全校朝会のスピーチから>

中学3年 北野 有爽くん

みなさん、おはようございます。今日は、この後入学式が行われますね。

幼稚部のみなさん、小学部1年生のみなさん、中学部1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。僕は、幼稚部からこの補習校に通っています。正直、補習校は小6で辞めたかったけれどお父さんに「中3まで頑張ってください」と言われて続けています。でも、中学部に入ってからの方が少し楽しくなってきました。それは、板橋先生の話が面白かったからです。あとは、補習校でしか会わない友達と話すのも面白いからです。それから、中学部になると運動会や補習校祭りなどの行事で係をやります。その係をやるのがとても楽しいです。なので、みんなも頑張ってください。僕の補習校最後の年の目標は、何事も楽しんで頑張ります。



【入学式の様子より】



2023（令和5）年度 ゴールドコースト校 教員紹介

校長 直塚 裕典

教頭 富田 温子 教務主任 ローリンソン 真紀子

幼稚部 勝村 晶子 (助手) 長部 海翔

小1-1 富田 温子 (助手) タムタ 涼子

小1-2 山本 千恵 (助手) 高橋 慶子

小2-1 黒田 夕紀 (助手) ヴォーブディン喜代美

小2-2 橋本 隼 (助手) 北野 記子

小3 五味 静香

小4-1 エリス 美紀 小4-2 伊藤 由衣

小5-1 川口 直樹 小5-2 板橋 明美

小6 ヒバード 一恵 中1 北山 桃子

中2 相馬 奈那 中3 ローリンソン真紀子

※職員一同、チームとして力を合わせて頑張っていきますので一年間よろしくお願い致します。

《昨年度、ご退職の先生》

奈良勝子先生、山本実由記先生：大変お世話になりました！

補習校でのルールを守りましょう！



1. 学習にふさわしい服装をしましょう。
服装は、日焼け予防の面からも肌の露出を控え(肩、おなか、背中が出ないもの)、安全のため現地校のスクールシューズや運動靴を勧めます。また、サンダルやヒールのついている靴、クロックスは禁止とします。
2. 携帯電話・イヤホンは補習校では必要としないため、登校後、校舎に入る前に電源を切ってカバンに入れましょう。授業後、校舎外に出るまでカバンから出しません。
※補習校も現地校と同じで携帯電話は必要ありませんので、「カバンに入れていない場合や使用している場面を見た場合」は帰りの時間まで預かりますのでご理解ください。
3. 補習校では、日本語で話しましょう。
週に一度の土曜日、せっかく日本語で学ぶ機会です。休み時間にも、友達に伝えたいことを日本語で話すようにしましょう。ご家庭でも、「英会話禁止！」ではなく、「日本語で話そう」と呼び掛けてください。
4. 学習に関係のないものは持ってこないようにしましょう。
盗難や紛失については、学校では責任が取れませんので持たせ方を家庭でご判断してください。

GC 補習校の日課表

8時45分までに登校

全校朝会・学級活動 8時50分～9時10分

第1校時 9時15分～9時55分

第2校時 10時00分～10時40分

中休み 10時40分～11時00分

第3校時 11時00分～11時40分

第4校時 11時45分～12時25分

理科学習,または補講を実施する日

第5校時 13時00分～13時40分

第6校時 13時45分～14時25分

当面の行事予定

- ・5/6 こどもの日集会
- ・5/13 社会科学習日
- ・5/20 授業参観(1時間目)
保護者会総会
- ・5/27 幼稚部授業参観(1・2時間目)
- ・6/3 理科学習日(お弁当持参)
避難訓練
- ・6/17 教育相談開始(希望者)
- ・6/24 第1学期終業式

保護者の皆様へ(ご連絡とお願い)

- 補習校では、朝の登校時間に担任は教室で子ども達を迎えるようにしています。週1回の補習校ですが、朝はとても大切な時間だと考えています。
- 先日は、学級ガイダンスにご参加いただき、ありがとうございました。担任の先生とお会いされて安心されたのではないのでしょうか。何かありましたら、担任の方までご相談ください。
- 送迎の際に、体育館付近で車を止めてお子様を降ろしたり、待っていたりしている保護者の方をお見かけします。体育館前は子ども達が走ったり、集団で体育館前を歩いたりして危険ですので必ず駐車場を使用するようにお願いします。
- 朝の時点で、帰りの待ち合わせ場所や時間を相談しておくことをお勧めします。

【校長より】 子ども達は、週に一度補習校に通っていますので、有意義な補習校生活になればと考えています。歓迎の言葉に、「補習校での生活では様々なことを学びます。その中で、何事にも積極的に挑戦し、自分の可能性を広げ、共に成長していけるよう頑張っていきましょう。」とあります。子ども達と同じように私達大人も助け合いながら共に成長していければと思いますのでご協力のほどよろしくお願い致します。